



市民ワークショップ（対話の場）の様子

市民への情報提供と未来を見据えた対話の必要性

市民意識調査で、半数以上の市民が「物産館・地区公民館を除くと、過去1年間利用していない」と答えています。一方で、議会には、新しい施設を望む声も多く届きます。それぞれの地域の市民の皆さんの対話や、地域特性に応じたマネジメントが必要です。

令和2年に、福山町小廻・中央・大廻地区では、「福山の下場地域を考えるワークショップ」が開催され、住民アンケートをもとに、公共施設の有効活用について官民共に話し合いました。

民間活力や市民協働を推進し、次世代へどのようにバトンを渡すことができるのか、議会も対話の機会を作っていきたいと考えています。

協働を促す議会

令和5年9月定例会の総務環境常任委員会では、公共施設管理計画をテーマに調査し、「市の財産は市民の財産」として、財政的に削減するだけではなく、市民の幸福のため、霧島市の将来を見据えた責任ある対応を求める提言を行いました。

公共施設のあり方は、地域生活全体に影響を与えます。皆さんの参加と協力が、より良い未来を築くための鍵です。これからも、持続可能な市民生活を送るために、皆さんのご意見をぜひおきかせください。



第44回 議員と語り合おう

初心者でも、普段着でも、おひとりでも、お気軽に参加できます。詳細は19ページ。ぜひご応募ください。

それぞれの地域ごとの課題を語り合えるよう、「議員と語り合おう」の地域巡回を予定しています。おひとりでも、普段着でも、初心者でも、お気軽に参加できます。詳細は19ページ。ぜひご応募ください。

各常任委員会に付託された主な案件について、審査した内容を掲載しています
結果については、10ページへ

委員会レポート

予算常任委員会 総務環境常任委員会 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会

予算常任委員会

予算常任委員会

◎鈴木てるみ ○久木田大和 松下 太葵 野村 和人 藤田 直仁 塩井川公子
川窪 幸治 木野田 誠 前島 広紀 有村 隆志 池田 綱雄 前川原正人

◎委員長 ○副委員長

予算委員会では、補正予算関係議案4件の審査をしました。

一般会計補正予算（第5号）

補正額 31億8,850万5,000円
補正後 701億6,051万9,000円

国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

補正額 132万円
補正後 144億8,010万1,000円

介護保険特別会計補正予算（第1号）

補正額 5億5,163万円
補正後 124億7,861万3,000円

下水道事業会計補正予算（第1号）
債務負担行為の延長

ここに注目!

高圧電力の契約の変更に伴い電気料金不足分を追加計上

事業費 1億888万2,000円



前島 広紀 議員

Q 例年より高い電力料金で契約となったのは本市だけか。

A 全国規模で起こっている。本市では、最も高い料金で契約することは避けられた。

総務環境常任委員会

総務環境常任委員会

◎宮田 電二 ○今吉 直樹 松下 太葵 藤田 直仁 松枝 正浩 前島 広紀
有村 隆志 飯屋 国治 宮内 博

◎委員長 ○副委員長

総務環境常任委員会では、1件の議案、1件の陳情を審査しました。

ここに注目! 霧島市火災予防条例の一部改正

急速充電設備に係る全出力規制の見直しと、蓄電池設備等の多様化及び大容量化に関する消防法上の規制区分の見直しが行われた。



宮内 博 議員

Q 急速充電器の活用対象が、これまで自動車に限られていたものが、今回、船舶や航空機、原動機付自転車にまで広がる。消防局として、どのような体制で臨もうと考えているか。

A 大規模化、多様化が見込まれているので、消防局としても勉強会、研修会等を開いて、職員等に周知徹底を図っていききたい。